

# 2013年度（35期） 事業報告書

自：2013年4月 1日

至：2014年3月31日



**公益財団法人 関西盲導犬協会**

京都府亀岡市曾我部町犬飼未ヶ谷18-2

# 2013年度事業報告書

(2013年4月1日－2014年3月31日)

公益財団法人 関西盲導犬協会

## 1. 公益事業部門

### 1-1. 盲導犬および視覚障がいに関する事業

#### (1) 盲導犬の貸与

##### ①盲導犬貸与ならびに共同訓練

##### a. 盲導犬貸与数（実働盲導犬数）

2014年3月末現在、実働盲導犬数92頭（ユーザー数95人）であった。

##### b. 共同訓練

2013年度は10人の視覚障がい者に共同訓練を実施し10頭の盲導犬貸与を行った。詳細は次のとおりであった。

使用者証NO.	性別	都道府県	犬名	犬種	性別	貸与日	新代/代替
7351	女	兵庫県	エリック	ラブラドル	雄	4月26日	代替
7352	女	広島県	ジェニー	ラブラドル	雌	6月15日	代替
7353	女	兵庫県	レイス	ラブラドル	雄	7月4日	代替
7354	女	大分県	ジル	ラブラドル	雄	8月4日	代替
7355	女	岡山県	ラスター	ラブラドル	雄	10月11日	代替
7356	女	大阪府	ルル	ラブラドル	雌	10月26日	代替
7357	女	奈良県	クロム	ラブラドル	雄	11月23日	代替
7358	男	兵庫県	ニコラ	ラブラドル	雌	2月15日	代替
7359	女	大阪府	ウィール	ラブラドル	雄	3月14日	新規
7360	男	広島県	ルーラ	ラブラドル	雌	3月23日	代替

##### ②公正な盲導犬貸与の実施

盲導犬貸与規程ならびに盲導犬貸与委員会規程に基づく公正な盲導犬貸与を実施することを目的に、盲導犬貸与委員会を開催し、盲導犬貸与申込者の選定ならびに共同訓練に関する各事項の手続きの確認を行った。

第31回盲導犬貸与委員会（4月6日）

第32回盲導犬貸与委員会（5月11日）

第33回盲導犬貸与委員会（6月7日）

第34回盲導犬貸与委員会（7月6日）

第35回盲導犬貸与委員会（8月3日）

第36回盲導犬貸与委員会（9月7日）

第37回盲導犬貸与委員会（10月12日）

第38回盲導犬貸与委員会（11月16日）

第39回盲導犬貸与委員会（1月18日）

第40回盲導犬貸与委員会（3月1日）

### ③盲導犬ユーザーへのフォローアップ

#### a. 盲導犬ユーザーに対するフォローアップ

フォローアップ専任職員を中心に、盲導犬ユーザーが安全で快適な盲導犬歩行ならびに生活が継続できるようフォローアップの充実を図った。2013年度のフォローアップ実施件数は204件（前年度166件）であった。

- ・定期 78件
- ・ファミリーリゼーション 24件
- ・共同訓練直後 7件
- ・犬の健康管理 47件
- ・犬の問題行動 26件
- ・その他 22件

また、2013年度の新たな取り組みとして、各地域在住の盲導犬ユーザーが参加できるグループフォローアップを実施した。テーマを「犬のコントロールについての再確認」として、6地区で行い、参加者は30名であった。

- ・神戸市 5名（2013年5月）
- ・近江八幡市 7名（2013年7月）
- ・岡山市 5名（2013年9月）
- ・広島市 4名（2013年12月）
- ・大阪市 5名（2014年1月）
- ・京都市 4名（2014年3月）

#### b. 盲導犬ユーザーへの情報提供

盲導犬の健康管理ならびに盲導犬ユーザーの負担軽減を目的に、ドッグフード・犬具・犬用薬品等について、例年どおり情報の提供を実施した。

## (2) 盲導犬の育成

### ①繁殖

a. 2014年3月末の繁殖状況は次のとおりであった。

- ・当協会で生まれたパピー頭数 46頭（全頭をパピーウォーカーに委託）
- ・他協会から譲り受けたパピー頭数 4頭（北海道盲導犬協会1頭／中部盲導犬協会2頭／九州盲導犬協会から1頭）
- ・2014年3月末の繁殖犬総数 23頭（内訳 オス 14頭／メス 9頭）  
うち新規繁殖犬登録数 6頭（内訳 オス2頭／メス4頭）

b. AGBN(アジア・ガイドドッグ・ブリーディング・ネットワーク)の実務担当者会議（4回開催）に繁殖担当職員を派遣した。

### ②パピーの育成

a. 2014年3月末のパピーウォーキングの状況は次のとおりであった。

- ・パピーウォーカーに委託したパピー頭数 50頭

b. 巡回指導およびパピースクール等の状況は次のとおりであった。

- ・定期巡回指導 のべ 245件
- ・パピースクール（24回、のべ235家族参加）

### ③盲導犬候補犬の訓練

パピー引き上げ時期の集約、訓練評価の定期化等、例年どおりの取り組みを実施した。

## (3) 盲導犬の保健衛生管理

### ①盲導犬のケア

昨年度に引き続き、貸与後、特定の病気を有する盲導犬に対して療法食の補助を行った。

## ②繁殖犬・パピーのケア

初心者のボランティアを対象にしたベーシックセミナー（11月10日）、ならびに経験者を対象としたスキルアップセミナー（11月30日・12月8日）を開催し、それぞれの犬の健康衛生管理ならびに訓練に関する知識を深められるよう講習会を実施した。

## ③訓練犬のケア

クイールの会（ボランティアの会）ならびにボランティアの協力のもと、訓練犬のシャンプーならびに犬室の整備を実施し犬舎環境の改善を図った。

## ④リタイア犬のケア

リタイア犬（盲導犬を引退した犬）の飼育ボランティアと連携を取りながら、リタイア犬の健康管理や介護などの問題に対応し、リタイア犬が快適な余生を過ごせるよう努めた。

a. 2014年3月末のリタイア犬の総数は次のとおりであった。

・リタイア犬総数62頭

b. リタイア犬事業資金（リタイア犬に係る指定寄付）の用途について

2014年3月末までに、リタイア犬のケアとして特定寄附金積立資産（リタイア犬事業資金）から取り崩した額は下記のとおりであった。（合計3,347,355円）

・リタイア犬のフード代 922,142円

・ワクチン等の医療費 2,228,563円

・火葬費 196,650円

## (4) 盲導犬訓練士および歩行指導員の養成

### ①盲導犬訓練士および歩行指導員の養成

2014年度の歩行指導員資格取得を予定している訓練士を中心に、共同訓練のサポートを通じて歩行指導員としての経験を積ませた。

### ②研修

全国盲導犬施設連合会が主催するクレーム対応研修会（2014年1月）、盲導犬歩行指導員等資格認定訓練士スクーリング（2014年2月）・歩行指導員スクーリング（2014年1月）、訓練検討会（2013年8月・2014年2月）に職員を派遣した。

## (5) その他

### ①ボランティアとの連携

クイールの会（ボランティアの会）ならびにボランティアの方々の協力のもと、訓練犬のケア・犬舎ならびに前庭の清掃等を定期的実施した。

### ②盲導犬の育成に関する調査研究

昨年に引き続き、北海道盲導犬協会ならびに中部盲導犬協会が行っている盲導犬の左右持ち替え歩行について、当協会での導入の可能性を検証するため、中部盲導犬協会の歩行指導員を講師に招き、訓練士ならびに指導員を対象とした研究会を毎月実施した。2013年度中に左右持ち替え歩行を希望する代替者との共同訓練を実施する予定であったが、候補犬の選定に時間を要し、2014年度に延期することとなった。

### ③慰霊祭

この1年間に亡くなった犬たちの関係者を招き、慰霊祭（10月6日）を開催した。参加者を限定したこと、秋のイベントが集中する時期であったことなど、多くの課題を残すこととなり次年度以降の慰霊祭の開催方法を再考する必要がある。

### ④リタイア犬ならびにキャリアチェンジ犬の活用（フレンドドッグ活動）

ボランティアの協力のもと、リタイア犬ならびにキャリアチェンジ犬を伴い高齢者福祉施設等を訪問する活動を実施したが、ボランティアと実施施設の調整が困難を伴い、結果として職員の負担が増大したため、理事会（2013年11月9日）において、当面は現在実施している施設のみを対象にして事業を継続することとなった。

## 1-2. 相談事業

### (1) 盲導犬・視覚障がい者に関する問題に対する措置

2014年3月末までに受けた苦情は3件、相談は17件であった。苦情に関して2件がボランティアが公開しているブログの内容についてであった。その対応として、当協会における「ソーシャルメディアの利用方針」を定め、ボランティアセミナーで方針説明を行い、情報発信の仕方や掲載内容の指導を行った。盲導犬ユーザーの盲導犬に対する扱いについての苦情は、担当指導員がフォローアップを行い、現状を確認したうえで指導を行った。

相談に関しては、16件が盲導犬ユーザーからの相談であった。うち、14件が盲導犬ユーザーの受け入れに関する相談で、宿泊施設や飲食店等の施設では改善を図ることができた。しかし、交通機関での受け入れについては継続した働きかけが必要となっている。事業者からは、盲導犬ユーザーへの対応についての相談が1件あった。

#### ①苦情内容ならびに件数

- ・盲導犬ユーザーの盲導犬に対する扱いについて（1件）
- ・ソーシャルメディアの利用について（ブログの掲載内容が適切でない）（2件）

#### ②相談内容ならびに件数

- a. 盲導犬ユーザーからの相談（16件）
  - ・船舶、飛行機等での受け入れについて（4件）
  - ・旅館、ホテル等の宿泊施設での受け入れについて（3件）
  - ・飲食店での受け入れについて（2件）
  - ・寺院での受け入れについて（2件）
  - ・その他の施設での受け入れについて（3件）
  - ・人違いによって盲導犬虐待を疑われたことについて（1件）
  - ・通行人から暴力的な発言を受けたことについて（1件）
- b. 事業者からの相談（1件）
  - ・盲導犬ユーザーの店舗利用について（1件）

### (2) 盲導犬に関する調査および研究

障害者権利条約の批准と完全実施をめざす京都実行委員会および2014年3月に公布された「障害のある人もない人も共に安心していきいきと暮らせる京都づくり条例」に関わった条例づくり検討部会に職員を派遣し、盲導犬ユーザーに対する差別解消のための働きかけを行った。

## 1-3. 啓発普及事業

### (1) 盲導犬の必要性ならびに身体障害者補助犬法についての啓発活動

#### ①視覚障がい者に対する啓発普及活動

- a. 以下の団体からの要請を受けて、盲導犬の体験歩行を行った。

2013年 4月26日	福知山市立福知山市民病院
2013年 5月24日	長岡市視覚障害者協会
2013年 6月14日	近江八幡市視覚障害者協会
2013年 7月 7日	村井勇松基金
2013年 7月28日	JRPS京都支部「北部地区交流会」
2013年 8月21日	神戸市立盲学校
2013年 9月 1日	亀岡市視覚障害者協会
2013年 9月10日	福知山市視覚障害者協会
2013年10月 6日	丹後視力障害者福祉センター
2013年10月25日	びわこハーネスの会／高島市視覚障害者協会
2013年11月15日	兵庫県視覚障害者福祉協会

2013年11月25日 京都ライトハウス鳥居寮

2014年 2月24日 三重県立盲学校

- b. 機関誌「ハーネス通信」の点字・テープ・電子データ版を4回発行した。  
(2013年4月1日、7月1日、10月1日、2014年1月1日発行)

②行政ならびに関係団体と連携した啓発普及活動

- a. 京都府身体障害者更生相談所が開催する視覚相談会、京都ライトハウスが開催する南部サテライト事業に職員を派遣し、盲導犬に関する情報提供を行った。

2013年 5月14日 城陽市

2013年 7月23日 京丹後市

2013年 9月19日 南丹市

2013年11月 6日 京田辺市

2013年11月19日 福知山市

2014年 1月21日 向日市

2014年 3月11日 木津川市

2014年 3月19日 宇治市

- b. 全国盲導犬施設連合会の委託を受け、「盲導犬情報」を編集・発行した。  
(2013年10月31日、2014年3月31日発行)

③一般市民に対する啓発活動

盲導犬ならびに視覚障がいについての正しい理解普及のため、啓発活動に取り組んだ。

- a. 訓練センターの見学

盲導犬ユーザー、クイールの会（ボランティアの会）と連携して 毎月第3日曜日（オープンデー開催のため4月を除く）を定例見学会とし、計503名の参加者があった。また、定例見学会とは別に43団体が訓練センターを見学した。なお、4月29日には例年どおり「オープン・デー」を開催し、ボランティアを含め約400名の参加者があった。

- b. 講演活動

学校・企業・社会奉仕団体等からの依頼を受け、講演・実演等に職員・盲導犬ユーザーを派遣した。

- ・学校での講演は103件（うち、26件は盲導犬ユーザーが講演）
- ・社会奉仕団体の例会・イベント会場での講演・実演は29件（うち、3件は盲導犬ユーザーと職員が講演）

- c. インターネットの活用

ホームページに見学会の案内やイベント・街頭募金活動日程を毎月掲載した。また啓発活動状況ならびに街頭募金金額については、3ヶ月毎に掲載した。

④ホームページや機関誌による情報提供

ホームページや機関誌「ハーネス通信」等を通じて、身体障害者補助犬法に関する情報や、受け入れの基本でもある盲導犬ユーザーへの理解が深まるようなテーマを取り上げ、情報提供に努めた。

⑤他団体と連携しての啓発普及活動

京都造形芸術大学が学内で実施するリアルワークプロジェクトを利用し、同大学とのコラボレーションでイベントを主催した。（2013年10月13日）

内容は、「C townすごろく in イオンモールKYOTO」、約100平米のスペースに巨大すごろくを設置し、すごろくで遊びながら盲導犬とユーザーについて学び、考えるきっかけを提供する場とした。

また、このプロジェクトをさらに発展させ、巨大すごろくを卓上ボードゲーム化して、晴眼者と視覚障がい者が共に遊べるゲームを作成中である。

## (2) 啓発に関する調査および研究

寺社仏閣・観光施設等での盲導犬ユーザーの受け入れの促進ならびに盲導犬ユーザーが楽しめる観光地の情報提供を目的とし、京都の名所を盲導犬ユーザーと訪問する特集を「ハーネス通信」に毎号掲載する試みを実施した。

## 2. 管理部門

### (1) 会員

2014年3月末の会員数は次のとおりであった。

総会員数 1,236件 (2012年度3月末 1,103件)

- ・ 正会員 1,139件 (前年度 107件増)
- ・ 青少年会員 23件 (前年度 1件増)
- ・ 法人会員 28件 (前年度 4件増)
- ・ 後援会員 24件 (前年度 4件増)
- ・ マンスリー会員 22件 (前年度 17件増)

### (2) 募金箱

2014年3月末の募金箱回収状況は次のとおりであった。

- ・ 2014年3月末の設置店舗数 1,956件 (2013年3月末比較 72件増)
- ・ 回収金額 9,857,303円 (前年度 10,169,487円)

### (3) 街頭募金

2014年3月末のクイールの会と協会職員による街頭募金を132回実施し、募金金額は15,045,004円であった。(2012年度3月末 110回 12,368,647円)

### (4) 募金自動販売機の設置

2014年3月末の設置台数は54台(新規4台、撤去3台)であり、寄付額総計745,189円(前年度756,853円)であった。

協力企業(関西キリンビバレッジサービスグループ・ジャパンビバレッジウエスト・コココーラウエスト・他3社)

## 3. 施設整備計画

### (1) 下水道負担金支払い(予算1,914,140円)

予算通り亀岡市に支払いを行った。

### (2) 下水道接続工事(予算2,306,363円)

敷地内の既存配管を下水道に接続、浄化槽の撤去ならびに埋め戻しを実施した。

下水道接続工事 700,980円

浄化槽撤去 1,237,740円

## 4. 犬舎建替え資金の当期積立予定額

当期積み立て分5,000,000円と、2013年度第3回理事会(2014年2月)で承認された20,000,000円の計25,000,000円を積み立てた。

## 5. その他

### (1) 職員について

		正職員数	パートタイマー	資格取得年数
管理部門	管理・事務職	3	1	
事業部門	盲導犬歩行指導員	3		1999年1名、2002年2名 ※上記3名は盲導犬訓練士の有資格者
	盲導犬訓練士	4	1	2009年1名、2011年1名 2012年2名、2013年1名
	パピー担当者	2		
	繁殖担当者	1		
	犬舎管理担当者	1	1	
	普及啓発	2		
計		16	3	

### (2) 訓練士等のキャリアアップの状況

訓練犬の訓練頭数ならびに視覚障がい者の歩行指導回数等、日本盲人社会福祉施設協議会の自立支援部会盲導犬委員会ならびに認定 NPO 法人全国盲導犬施設連合会の策定した基準に則り、訓練士ならびに歩行指導員を養成。その他に、国際盲導犬連盟、アジアブリーディングネットワーク、視覚障害リハビリテーション協会等の主催するセミナーや会合などに積極的に参加して、訓練技術や視覚障害に関する知識のキャリアアップを実施。

### (3) 訓練について

犬のステージ	期間 (犬年齢)	訓練のステージ	担当職員	内容
子犬	生後 60 日～ 1 歳	パピーウォーキング	パピー担当	パピーウォーカー（子犬飼養ボランティア）宅での基本的な躰や生活
訓練犬	1 歳～ 約 2 歳	候補犬の訓練	訓練士 歩行指導員 犬舎管理担当者	直線歩行・障害物回避・段差発見・公共交通機関の利用・ステイ（待つこと）・生活訓練（食餌・排泄等）
	約 2 歳	共同訓練 (2 週間～4 週間)	歩行指導員	視覚障がい者と訓練犬との歩行訓練ならびに生活訓練
盲導犬	2 歳～ 10 歳	フォローアップ	歩行指導員	盲導犬ユーザーが安全な歩行かつ快適な生活を継続するために、盲導犬貸与後最低年 1 回のフォローアップを実施

### (4) 施設について

#### ①施設の場所

〒621-0027 京都府亀岡市曾我部町犬飼未ヶ谷18-2

#### ②敷地面積

亀岡市曾我部町犬飼未ヶ谷18-2 (5,715.71㎡)



亀岡市曾我部町犬飼未ヶ谷18-3 (2,486㎡)

亀岡市曾我部町犬飼未ヶ谷18-4 (393㎡)

亀岡市曾我部町犬飼未ヶ谷24-2 (105.98㎡)

③建物

a. 訓練センター棟（鉄筋コンクリート2階建て） 826㎡

事務所・厨房・食堂・ホール・宿泊室（7室）・犬用医務室・犬舎

b. 新犬舎（鉄骨平屋建て）犬室4室 94.60㎡

c. ハーネス研修センター（木造2階建て） 宿泊室3室 厨房・食堂 122.84㎡